

# H29 年度 教科構想シート

技術・家庭科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）		
色々な事に興味を持ち自ら学ぼうとする生徒	社会で生きていくために必要な力（技能）が身に付いた生徒	
教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）		
課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	●作品制作時における目標につながる課題を見出す場面  ○制作の中に課題を見つけ、課題を解決するための制作物を考えさせる。
	【情報の収集】 におけるポイント	●作品制作のために必要な情報を収集する場面  ○過去の制作物や最新の製品などから制作を行うためのアイデアを収集させる。
	【整理・分析】 におけるポイント	●収集した情報はどの場面で必要かどのように使うか整理する場面  ○ワークシートを活用し、「経済的側面」、「環境的側面」など整理して分析をさせる。
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	●知識や技能を使って作品を制作する場面  ○学んだ知識を、制作を通して実践させる。
	【実行】 におけるポイント	●知識や技能を使って作品を制作する場面  ○作業の中で発生した問題に対して、すぐに答えを教えるのではなく、まず生徒に考えさせ、実行させることで、自ら課題を解決する力を身に付けさせる。
	【振り返り】 におけるポイント	●作品制作時に習得した技能や新たに出た課題を振り返る場面  ○制作を振り返り、生活の中での活用について考えさせる。
	【協同学習】 におけるポイント	●班やグループにより教えあいをさせたい場面  ○グループで協力して作業を行わせることで、わからない生徒の支援をさせる。

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語る力 (知の構造化)	・毎回の授業で、授業ノートやワークシート、振り返りシートを活用してまとめる。	◎
思考力・ 判断力・ 表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・学習した知識を活用して、正しく判断し、材料や、生活必需品を選択させる。	◎
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・設計や購入の場面で、ペア学習やグループ学習を行い、交流する。	◎
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	・発表の場面では、作品を活用して根拠や理由をつけて説明する。	◎
主体的に 学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・実習を通して、失敗から学び、自らの力で解決するための方法を工夫する。	◎
他者と かかわる力	①他者と協力（協働）し、課題を解決しようとする力	・グループで協力して作業を行い、授業をめあてを達成する。	◎
	②他者とのかかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・他者の振り返りや実践を参考にして、自らの作業に生かす。	◎
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・技術の発展や家庭生活と環境の関わりについて考え、工夫して生活する。	○
		・「大好き！福山～ふるさと学習～」を活用して、地元の産業や、食文化について考える。	○
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・他者との交流の中で互いに認め合い、新たな目標を持ち高め合う。	○
	②自信を持つ力	・作品を完成させる。また、作業の過程も含めて相互評価を行う。	○